

東洋陶磁学会 第三十七回大会のお知らせ

酷暑の候、会員の皆様には益々ご清祥の事と存じます。

この度、平成二十一年度の大会を、左記のとおり開催致します。
奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

東洋陶磁学会

記

- *日時 平成二十一年十一月二十一日(土)・二十二日(日)
- *会場 兵庫陶芸美術館(兵庫県篠山市今田町上立杭四)
- *共催 兵庫陶芸美術館・丹波古陶館・丹波立杭陶磁器協同組合・大手前大学史学研究所・兵庫県立考古博物館
- *後援 篠山市・篠山市教育委員会
- *テーマ「丹波焼」

《開催趣旨》

平安期に須恵器生産地域であった丹波地方は、平安末期に東海系の瓷器系陶器生産技術を導入して中世丹波焼生産に転換した。その窯は山峡の四斗谷川に面した丘陵地に構築され、鎌倉・室町の中世丹波焼を産みだし、十五世紀末～十六世紀の戦国期を巧みに乗り切り、安土桃山期を経て、江戸時代には施釉陶器生産地として華麗な近世施釉陶器の世界を築いている。この中世六古窯の一つの丹波窯は、時代によってその生産内容を変革させ、需要に応じた生産活動を継続させている。その生命力の源がどこに潜んでいたのか、時代を越えて支持された丹波焼の魅力とは何かを考察する。

*日程

二十一日(土) 午後一時より受付 一時三十分開会

・東洋陶磁学会常任委員長挨拶

竹内順一

・篠山市長挨拶

・基調報告

「中世から近世までの丹波窯の展開過程」 長谷川眞

・見学会(立杭↓篠山) 終了後バスで懇親会会場へ

・篠山市立歴史美術館・丹波古陶館・能楽資料館

・懇親会 午後六時三十分～ 於・ユニトピアささやま

(懇親会終了後、JR篠山口まで送迎バスあり)

二十二日(日) 午前九時三十分より受付 十時三十分より発表

・研究発表

「平安末から戦国期の丹波」

芦田岩男

「中世丹波窯の成立」

大槻伸

「中近世丹波焼の流通」

岡田章一

「丹波窯にみる備前系技術の展開」

潮崎誠

・見学会

三本峠北窯跡・下立杭古窯跡など丹波窯の窯跡出土遺物

・研究発表

「丹波焼の茶道具」

梶山博史

「近世丹波焼の世界」

中西薫

「江戸後期の北摂丹波の磁器生産」

岡佳子

・シンポジウム 「丹波焼の成立と発展、今後の展望」

司会：井上喜久男・弓場紀知

午後四時十分 閉会

*費用

・大会参加費(参加者全員)

二、〇〇〇円

・見学会会費(二十一日・申込者のみ)

二、〇〇〇円

・懇親会費(二十一日・申込者のみ)

六、〇〇〇円

・昼食費(二十二日分・申込者のみ)

一、〇〇〇円

*交通

兵庫陶芸美術館 <http://www.mcart.jp/>

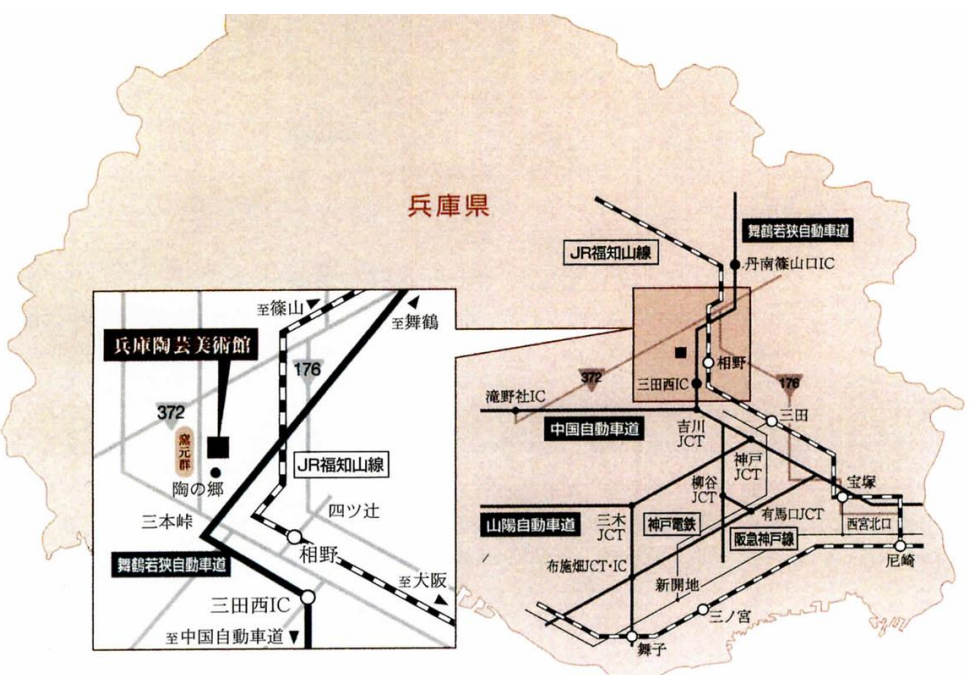
・「JR相野駅」からバス十五分(バスの時間注意)

・バス(JR相野駅→兵庫陶芸美術館)

9:35→9:47・10:24→10:39・12:54→13:09

・バス(兵庫陶芸美術館→JR相野駅)

16:30→16:41・17:59→18:13



*その他

・ユニトピアささやま宿泊と懇親会のパックも用意しております。

翌日、大会会場までバスでお送りします(別紙参照)。

*ユニトピアささやま <http://www.unitopia-sasayama.com/>

兵庫県篠山市矢代二二二-一 電話〇七九-五五二-五二二二

【注意】

・参加申込は十月十五日迄に、振込用紙にてお願い致します。

・発表の演題および順序が変更される場合がございます。

東洋陶磁学会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町二一六-九 三栄ビル二〇一

TEL・FAX 〇三-二三三九-一二七七

<http://homepage3.nifty.com/toyotoji/>